

## 環境

### 大気汚染防止

#### ガバナンス

#### 戦略とリスク管理

#### 取り組み

- 自動車専用船からの排気ガスを回収・処理
- 船舶の減速航海
- 関連データ

#### ガバナンス

当社グループは、「日本郵船グループ 環境ビジョン」において特に対処すべき3つの環境課題の一つに「大気汚染防止」を掲げています。

大気汚染防止を含む環境関連課題のガバナンス体制については「環境マネジメント」をご参照ください。

詳細は以下をご覧ください

**P.030** 環境マネジメント

#### 戦略とリスク管理

当社グループは、大気汚染物質の排出に関する国際的な規制と各地域特有の規制に則り、船舶を運航しています。

環境規制を満たした船舶の発注を前提に、運航にあたっては規制に適合する油（低硫黄燃料油）の適切な使用を義務付けるとともに、硫黄を含まないクリーンなLNG燃料を使用するなど大気汚染物質の削減を着実に実行します。さらに、燃料油の分析を継続的に行っていくことで、規制に適合した燃料油の使用を確実に管理しています。

#### 取り組み

##### 自動車専用船からの排気ガスを回収・処理

当社は、米国の船舶向け排気ガス処理事業会社STAX Engineering Pty Ltd.と、船舶からの排気ガスを回収・処理する技術・サービスの利用契約を締結しました。

本件は、カリフォルニア州大気資源局（CARB）が同州に寄港する船舶に定める排気ガス規制の対象拡大に対応した取り組みです。CARBの排気ガス規制では現在、カリフォルニア州に寄港する外航コンテナ船・旅客船などを対象に、停泊中に排出する窒素酸化物（NOx）、二酸化炭素を含む反応性ガス（ROG）、粒子状物質（PM）、ディーゼル微粒子（DPM）などの削減が義務付けられています。2025年からは自動車専用船やタンカーも対象となり、当社は本技術を活用し当社運航の自動車専用船が停泊中に発する排気ガスを2025年1月から回収・処理しています。



同技術による排気ガス回収・処理のイメージ

##### 船舶の減速航海

当社は、米国の環境団体California Marine Sanctuary Foundationなどが運営する北米西岸での船舶の減速航行プログラム“Protecting Blue Whales and Blue Skies”に参加しています。当社の海洋環境保護への協力姿勢は高く評価され、2025年には最高位となるサファイア賞を3年連続で受賞しました。

このプログラムは、大気汚染防止とクジラ保護のために、サンタバーバラ海峡とサンフランシスコ・ベイエリアの指定された海域内で、船舶の自主的な減速運航を奨励するものです。2024年5月1日から12月31日までの期間内に、指定された減速海域を10ノット以下で航行した距離を自動船舶識別装置（AIS）で分析した結果、当社運航船舶の順守率は90%以上と極めて高い水準でした。



サファイア賞のトロフィー

##### 関連データ

■ NOx、SOxの排出量（船舶由来）

